

学生企画のボランティア活動は、住友商事・東日本再成ユース
チャレンジプログラムから助成を受けています。

ボラスステ新聞

2015年度
第 9 号

二〇一六年
二月三日
発行

TASKI カフェ、賑やかな声に

囲まれて寒さ吹き飛び笑顔こぼれる

十二月五日に美田園第一仮設にて、お茶会とアロママツサージを行いました。

美田園第一仮設での活動は今回が初めてになります。初めての場所、初めて出会う住民の方々でしたので、初心に返ったような気持ちで参加しました。

私は主にアロママツサージをしていました。住民さんに、笑顔で「ありがとう」とお礼の言葉を言っていたいただいたことや、「気持ちよかったからもう片方の腕もやって」とお願いされたことを、とても嬉しく感じました。

それから私を含めて五人で賛美歌やクリスマスソングを歌いました。賛美歌が好きな住民さんがいらっしやっただので、今後も続けていきたいと強く



櫻井琴野

思います。合唱の他に、ダンスも披露し、短い時間でしたが、楽しく過ごすことができました。
新たな改善点や目標など各々見つけることができたのではないのでしょうか。
活動場所が一つ増えたので気を引き締め、早く住民さんとの距離を縮められるように、成長していきたいと思えました。これまででの活動をきちんと振り返り、二〇一六年の活動に活かしていきたいです。
(人間心理学科一年)



今回のTASKIカフェでは、住民さんとの交流やアロママツサージの他にも、学生による合唱やダンスで盛り上がることもできました。
中でも、最後に住民さんと一緒に歌った「ジングルベル」は、自然と掛け声や手拍子で、楽しい時間を共有することができたと思います。

お茶会の時間はあっという間に過ぎていきました。

最後に少し早めのクリスマスプレゼントをお渡しし、住民の皆さん、私達学生も、笑顔でのお開きとなりました。住民さんから「また来てね!」というお声をいただき、この活動をきっかけに、さらに美田園での活動を増やしたいと思います。
(人間心理学科一年)

伊藤ちひろ

〔神戸招聘プログラムから〕

災害時に大切なのは、「正確な情報を、簡潔に伝える」ことです。

そこで、練習としてこの活動の感想を短歌にする課題に取り組みました。

その中でも、優秀作品を紹介します。見出しもその一部になります。

美田園の

笑顔溢れる 集会所

冬の寒さも 感じぬ楽しさ

これから

美田園の人と つながろう

明るい笑顔が 待っているから



編集 後記

今回の号から広報担当になりました、人間心理学科1年の田中遥です。来年度も前担当の渋谷佳代先輩に続き、TASKIの活動をより多くの人に知ってもらうため、精進していこうと思います。もうすぐ今年度は終わってしまいますが、春休み中もTASKIの活動は盛り沢山です。書き漏らすことなく記事にしていきたいと思っています。これからも、よろしく願いいたします！(人間心理学科1年田中遥)